



家庭倫理の会は「よくする活動」を推進しています  
家庭を、地域を、日本を、地球をよくする 活動を推進しています

純粹倫理学習会・第3講 池田久子専任講師

6月28日(日)9:15~10:45

中野サンプラザ8階第5研修室にて開催 出席者26名

テーマ:物境不離の原理



初めて中野区に  
りまして担当に  
は首都圏に決  
まりましたので  
目にかかるとお  
増えると思いま  
す。

この原理は丸山敏雄先生がお亡くなりになる寸前、昭和26年12月号の「新世」に載せられたもので日記には「場の原理」、「不可欠の原理」と記され、最終的に「物境不離」となった、その中で丸山先生は何を言いたかったのか。



物と境(場・環境)・・・家の顔、中心者の顔とも言うべき玄関に靴が乱雑に脱ぎ捨てられ、新聞が積み重ねられ、そんな事で玄関が玄関としての働きを十分にしているか、存在ならしめているか。机、茶碗、茶たく、おしぼり、家、屋敷、ビル、都市もしかりです。

「物」と「境」は別々には存在しない・・・じめじめした梅雨時を良い季節と受け入れ、風呂に入るとき、食事を作る時、カビが生えない、雑菌が増殖しないように、一番よい状態にするにはどうしたらよいか、又妻は妻として、夫は夫としての働きが充分になされているか、

その時その場に於いて自分の役目は何なのかを理解することが大切なのです。

そして生活法則に則っていけば、物に恵まれ生活が良くなり、環境も整ってくる。

人間関係に於いても同じで、その場から離れることは出来ないとしたら、

受け入れられない相手でも受け入れていく、美点を見ていく、

その時自分の存在もさらに大きく高められていく、まさに苦難福門である。



人の使命とは・・・その場をベストにする事、ここを丸山先生は言いたかったのではないのでしょうか。

物を散らかす人があれば、それを片付ける人がいてバランスが取れているのが家庭です、散らかした人を責めると調和が乱れる、フォローすることで調和が取れてくる。調和していることは明るくしている事である、明朗は調和の姿である。世の中は良くなる方向に動いているのだから、人として生まれた以上、この世の中を良くする為に生きている存在であると自覚し、日に一つ良いことを、先ず自分から、そして身近な人・物・周りに及ぼして行く、その時季節が知らない内に変わっていくように、人の生活は悲しいこと、嬉しいこと、困った事を繰り返しながら、生活法則に則って、なすべきことをしっかりとやっている内に振り返ってみた時、必ず良い事が沢山起きて来ているはずだ。



人の天職とは・・・榊(常緑樹)に神宿るがごとく、見えない世界のものを大切に、その人の心(精神)が物、場所に現れているのだからその場を良くしていく働きをする、家を玄関を汚いままにしておく事は、心がそこにはないからです。

大調和の生活を高め深める・・・丸山敏雄先生は次のように述べていらしゃいます、「貴方が身を置くその時、その場をより相応しく、より調和のあるものにするように努めることである」と。又、倫理を学んで、自分の心がどれくらい進化したかを計るバロメーターとして身の回りの人たちにどれほどの感謝の念がもてるか、どれくらいスナオな人間なのかは命のもとに對しどのような考え方を持っているかで図ることができます。

たった一度の人生です、帰りの切符はありません「栞」をしっかり学んで実践していきましょうと弁舌さわやかに話された。

今回は7月26日(日)テーマ:一貫の倫理、菅谷いみ子専任講師・最終回です



丸山竹秋会長没後10周年記念大会

7月19日(日)開場12時 開演13時

終演16時 両国・国技館入場無料

(整理券が必要)・満席になりました

問い合わせ;清水推進長

山崎恵介副管区長からの

メッセージ:五月十一日

前に進むか

後ろに退くか

右に行くか左にするか

人生にはいくつもの

岐路がある。

ある人は言った。

常に難きを選べと

安きにつくのは

退歩の道行き。

敢然として

困難な道に行こう。

ニッコリ笑って

難問に挑もう。

## 特集・第6回体験発表会

5月16日(土) 5:30～6:30 天神会館にて開催された

報告者は原 千美さん、清水新司さん 解説は飯田孝雄副参事

原 千美さん：現在の家主さんになって30年、始めての大修理に感謝・・・隣に住む93歳のおばあちゃんがフライパンを焦がして、もくもくと外にまで煙を出した、火災報知器を付けたのに聞こえなかったのかしらと言う家主さんに、我が家にも付いていませんよ、どれどれと大家さんが部屋を見てこれまたビックリ天井はぶら下がり、トイレのドアはガタガタ、ずっと入居して頂いていたのに申し訳ない、原さんの使いやすいように直しましょうと35年ぶりの大修理が始まった。よくここまで片付けたねと大工さんが驚くほど部屋に溜め込んでいた思い出の品々を「老いては子に従え」とばかりに娘の言うとおりに片付けた。お勝手、換気扇、畳、ガラス戸、押入れ等すべて新しくなった。大家さんから一杯プレゼントを貰ったねと娘から言われたりもした。夢なら覚めないで欲しいと思っている。お隣で煙を出してくれたお陰で大修理となり、こんな明るい部屋であったのに物を溜め込んでいた事を深く反省した、今は感謝の気持ちで一杯です、入院中の隣のおばあちゃんのお見舞いに行き、いきさつを話すと良かったねと言ってくれました。又どんな実践をしていたのかと尋ねられても唯、主人と一緒に休み無く「おはよう倫理塾」に通い続けていただけですと謙虚に語った。



まとめ：どんな道でも休み無く続ければ必ず救われます。老いては子に従えで、娘さんに心を合わせ、知らない内に家族が一つになっていたのでしょうか、偶然は無く必然ですね。ますます明朗・愛和・喜働・純情(すなお)な境地に近づくように。

清水新司さん：地元商店街のスタンプ事業の責任者として中野区商店街連合会のプレミアムキャンペーン商品券販売、定額給付金の決定を聞き、スタンプ事業にチャンスと思い、すぐ役員に連絡しスタンプの5倍セールを取行、チラシ・看板と手配しPRに努めた、しかし何か弱いと思い役員に話をつけ10倍セールに変更した。自分たちの商店街での商品券販売許可も追い風となり、4月末現在、5,000枚回収の予想をはるかに超え、なんと12,000枚の商品券が買い物に使われ、加盟店の売り上げに大いに貢献した。客にも喜ばれ、売り上げが増えたとの嬉しい声も聞かれた。又、スタンプの存在が新に認識される等、大成功のセールでした。これも日ごろ「万人幸福の菜」で学んでいる事が少しは身に付いてきたのではと感じた。これはチャンスと気付き、即行、出せば入る、やるときは思いきってやるなどの実践の賜物と思っている。と報告。



まとめ：清水さんの商店街(都立家政)はカラー舗装が綺麗であり、ひとつ綺麗であると綺麗な店・綺麗なマンションが出来、人口が増え商売繁盛となる、日ごろの実践が成果に繋がったのでしょうか

### 富士研受講の感想・真木佳子(6月号の続き)

2日間での講義は全部で4講でした。中でも、聖堂での体験は本当に衝撃的でした。講師から今日、明日の命としたら死ぬ前に3人の人に思いを馳せ、感謝をして心を寄せて下さいと言われてました、私は先ず主人、次に主人の父、そして長男の順で思い浮かびました、何故主人の父親が浮かんだのか本当に今でも不思議に思います。その時も涙が溢れ、沢山泣きました。そして次に衝撃的だったのが選択学習の時でした、とにかく涙がどんどん溢れ、話をじっくり聴いて頂き、その上、昼食の時間を割いてまで面接して下さった木村英夫次席には心から深く感謝をし、実践の決意を致しました。2日目の朝は晴天に恵まれ富士山を拝む事も適えられ、食事のマナーも教えて頂き、とても心が新鮮な気持ちで2日目を体験し、心より感謝いたしました。又一緒に連れて行って下さった皆様にもお礼を申し上げます。又次の機会にも是非参加させて頂きたいと願っています。



ありがとうございました。

### 菅谷いみ子専任講師ご来講

7月 25日(土)・・・18:15～役職者懇談会・中野区商工会館  
26日(日)・・・5:30～おはよう倫理塾  
26日(日)・・・9:30～第4回純粋倫理学習会・サンプラ  
問い合わせ：清水 03-3330-5045



### 全国一斉清掃、雨天の為中止となりました

家庭倫理の会中野区は5月28日(木)を“ごみゼロの日”美化清掃活動とし、中野区暮らし分野・十字路商店街・明るい社会づくりの会と共に、中野区役所～中野通り～中野駅北口周辺でのポイ捨て吸殻等の収集による美化清掃ボランティア活動を計画実行の予定でしたが雨天の為残念ながら中止せざるを得ませんでした。

家庭倫理の会中野区ホームページ <http://nakano-rinri.jp>